

4年連続で荒川(福島市)が“水質「最も良好な河川」” ～平成25年の国土交通大臣管理区間の河川水質調査結果～

国土交通省では、昭和33年（東北地方：昭和35年）から一級河川（大臣管理区間）において水質調査を実施しています。

平成25年（1月～12月）の水質調査結果が発表（7月22日）になり、荒川が4年連続で全国の水質「最も良好な河川」になりました。

荒川の ● BOD 平均値 H25 0.5 mg/l H24 0.5 mg/l
水質 ● BOD75 %値 H25 0.5 mg/l H24 0.5 mg/l

【水質調査対象河川の条件と評価基準】

■以下の条件を満たす163河川のうち、各調査地点のBOD年間平均値の河川での平均が0.5mg/l（環境省が定めるBODの報告下限値）であるものを、平均的な水質が最も良好な河川としています。

- ・一級河川本川：国土交通大臣管理区間に調査地点^{注)}が2つ以上ある河川。
- ・一級河川支川：国土交通大臣管理区間の延長が概ね10km以上で、かつ調査地点^{注)}が2つ以上ある河川。

注)湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点は含まない。ダム貯水池は原則として調査地点は含まない。

■BOD（生物化学的酸素要求量）の年平均値を用いて、各河川毎に全ての調査地点を平均した値で評価します。なお、年平均値が同じ場合には75%値で評価しています。

4年連続全国で水質が「最も良好な河川」は、流域の皆様の河川愛護のおかげと思われます。

引き続き、皆様のご協力をお願いします。

<記者発表先> 福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島市黒岩字榎平36番地

TEL 024 (546) 4331 (代表)

副所長（河川） 二瓶 ^{にへい} 昭弘 ^{あきひろ}（内線204）

河川管理課長 ^{わたなべ} 渡辺 ^{としひこ} 敏彦（内線331）

【参 考】

※BOD（生物化学的酸素要求量）

水の汚れ(有機物)が微生物の働きで分解されるときに消費される酸素の量のこと、河川の水質を示す代表的指標値として使われます。数値が大きいほど水質が汚れていることを示します。

BODに関する水質分析は、最小値を0.5 mg/l として分析をするため、もっともBODの小さい値は0.5 mg/l となります。

※75%値

月1回の水質測定で年12回分のデータがあったとした場合、データを小さい順から並べ12回×0.75≒9番目のデータ値をいいます。

※国土交通本省（全国版）・東北地方整備局においても記者発表しております。